

# 2016 年 度 事 業 報 告 書

## 特定非営利活動法人 地球のステージ

### 1 事業の成果

#### 国内事業

国際理解教育プログラム「地球のステージ」の年間実績は 154 回となり、前年度より 16 回の減少となった。そのうち約 7 割が学校・PTA 主催であり、教育現場内での需要が多くなっている。神奈川県内での開催が 16 回と最多であり、今後も地元である神奈川での開催に力を入れ、国際理解はもとより、人権・命の大切さなどについて伝えていく活動を行っていきたいと考える。

#### 海外事業

東ティモール事業：ハトリア郡の 7 村の保健ボランティアの育成とハトリア郡保健センター職員の能力向上を図るために活動してきた。その結果、SISCa（巡回診療を通じた地域保健サービス）の実施状況も改善し、対象地域住民の健康増進と疾病予防をはかることができた。

パレスチナ支援事業：ガザ地区ラファの聴力障がい児童と危険地帯に暮らす健常児童に対し、課外授業の枠でトラウマ予防のための心理社会的ケアを実施した。事業 3 年目に入り、地元からの当事業への関心がますます高まり、最終発表会へ地域の有識者が参加するまで認知されたこと、当事業の取り組みがメディアで報道されるなど、今後の当手法の広がりが期待できる。また子どもたちの変化として、ケアによって心の成長を実感することができた。

ミャンマー里親学資支援事業：ミヤッセ・ミャー村の中学校 3 年から高校 2 年の生徒を対象に、月々かかる通学費用と学習資材費を支援するため里親を募集し、31 名の生徒を支援することができ、全員途中辞めることなく勉学に励み、全員が昇級できた。

助産師育成プロジェクト：ジャワ島中部地震の被災者であってリサを、助産師にするべくこれまで支援してきた。2016 年 9 月に助産師学校を卒業し、助産師となった。今後、助産師として地域医療に貢献していくことが期待できる。

#### 災害救援活動

熊本地震医療支援：4 月 20 日よりスタッフを派遣し、南阿蘇村で活動を開始。被災者の方の心のケアを担当。南阿蘇中学校体育館の避難所に「こころの相談室」を開設し個別の相談にのる他、別の避難所や患者さんのご自宅へ訪問しての診療も行った。また子どもたちを対象にしたグループでのワークショップを開催。桑山による「心のケアセミナー」を保育園や小学校で開催し、ノウハウを伝えていくことができた。

### 2 事業内容

#### (1) 特定非営利活動に係る事業

- ① 映像と音楽を組み合わせた国際理解教育プログラム「地球のステージ」シリーズの開催に関する事業
- ② 「地球のステージ」に関する情報提供、交流事業等の実施に関する事業
- ⑥ 「地球のステージ」シリーズに関する CD、絵葉書などの有償提供

#### ア 地球のステージ公演事業

- ・ 事業内容 国際理解講座「地球のステージ」開催
- ・ 日時 通年
- ・ 場所 日本全国の学校体育館・公民館・ホールなど

- ・従事者人数 約4名（1公演）2名（マネージメントスタッフ）
- ・対象者 学校の生徒とその父兄、一般参加者 約55,000人
- ・支出額 37,899,616 円

③医療・教育・職業訓練などを通しての国際支援事業

⑤途上国支援、自然災害時における救援活動への募金活動

ア 東ティモール支援事業

- ・内容 母子保健事業ならびに医療巡回診療事業・保健ボランティア育成事業
- ・日時 2016年4月1日～2017年3月31日（継続）
- ・場所 東ティモール エルメラ県ハトリア郡
- ・従事者人員 日本人スタッフ4名、東ティモールスタッフ15名、
- ・対象者 対象地区7村34地区の保健ボランティア 34名  
最終裨益者は対象地区7村の住民 19,010名
- ・支出額 24,445,738 円

イ パレスチナ支援事業

- ・内容 ガザ地区南部における聴力障がい児童及び  
危険地帯に住む児童に対する心理社会的ケア
- ・日時 2016年4月1日～2017年3月31日（継続）
- ・場所 パレスチナ自治州 ガザ地区 ラファ市
- ・従事者人員 日本人スタッフ4名、現地スタッフ9名、
- ・対象者 児童120名（聴力障がい児56名、健常児64名）  
ファシリテーター（ケア実践者）養成講座5名  
間接裨益者は児童の家族やその他の児童、地域の人を含めた  
人数 約1,000名
- ・支出額 28,931,534 円

ウ ミャンマー里親学資支援事業

- ・内容 ミャンマー中部ミャッセ・ミャー村の中学・高校に通う生徒の就学支援
- ・日時 2016年10月1日～2017年3月31日（継続）
- ・場所 ミャンマー国 シャン州 ミャッセ・ミャー村
- ・従事者人員 日本人スタッフ2名、現地スタッフ1名
- ・対象者 Grade8（中学3年）、Grade9（中学4年）、  
Grade10（高校1年）、Grade11（高校2年） 計31名
- ・支出額 1,031,111 円

エ 助産師育成プロジェクト（リサ応援プロジェクト）

- ・内容 助産師学校に通っているジャワ島ジョグジャカルタ近郊デリンゴ郡テロン村在住のスリシアーナ・ファリサさん（通称、リサ）への学資支援
- ・日時 2016年10月1日～2016年9月30日
- ・場所 インドネシア ジョグジャカルタ
- ・従事者人員 スタッフ2名
- ・対象者 1名
- ・支出額 65,957 円

④自然災害時における救援活動に関する事業

#### ア 東日本大震災復興支援事業

- ・内容 津波復興祈念資料館「閑上の記憶」の運営
- ・日時 2016年4月1日～2017年3月31日（継続）
- ・場所 宮城県名取市閑上
- ・従事者人員 フルタイムスタッフ1名、パートタイムスタッフ7名、
- ・対象者 全国各地、全世界からの来館者 14,5552人  
（案内ガイド 194件、4,259人、  
語り部の会 27回 361人、語り部講話 55回 1,068人含む）
- ・支出額 13,231,306円

#### イ 宮城県協働教育プラットフォーム事業

- ・内容 「閑上から津波を通していのちを考える会」を学校現場等で実施
- ・日時 2016年9月1日～2017年3月31日
- ・場所 宮城県内の小中学校体育館（仙台市を除く）
- ・従事者人員 フルタイムスタッフ3名、講演者2名、語り部 2名
- ・対象者 宮城県内の小中学校（仙台市を除く）  
16校（団体）に震災学習を提供し、合計で4,084
- ・支出額 3,999,232円

#### ウ 熊本地震緊急医療支援活動

- ・内容 被災者の方への「心のケア」実施（心の相談室開室・心のケアセミナー）
- ・日時 2016年4月20日～2016年10月31日
- ・場所 熊本県阿蘇村
- ・従事者人員 派遣医師 6名、臨床心理士 2名、スタッフ 6名
- ・対象者 南阿蘇村にて被災された方 約1,000人
- ・支出額 4,127,638円